

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：和歌山県 有田川町立石垣小学校

活動名：いしかき人権プロジェクト ～地域との協働による人権学習～

解決すべき課題：
 本校は、地域の核家族化・少子化の進行によって児童数が減少傾向にあり、今年度は単式学級に加え、複式の学級編成も行われた。
 児童数・学級数減少に伴い、人間関係の固定化やコミュニケーション能力に課題のある児童が多いという課題がある。

目標・方針：
 ●文部科学省『令和元・2年度 人権教育研究推進事業人権教育総合推進地域』指定
 ○研究テーマ
 「自他を大切にし、互いに認め合い、共によりよく生きる児童生徒の育成～関わり合う活動を通して～」
 ・仮説：人権学習単元を軸とした地域との協働で、自尊感情を高め、よりよく生きる児童を育成する

活動内容：
 (1) 人権学習単元様式の提案(研究主任として)【計画】<資料>
 * 重点的に取り組む人権課題に向けたアプローチ
 * 人権教育における三側面(知識的、価値的・態度的、技能的)の関連を明確化
 (2) 人権学習単元を軸とした人権教育【実行・評価】
 ・道徳科と特別活動での研究授業と研究協議<写真①>
 ・地域との連携(例：神社の祭礼に参加、保育所・中学校との交流、役場や福祉協議会から外部講師招聘、地域高齢者サロンへの参加、地域行事への参加)<写真②>
 ・人権教育総合推進事業会議への参加と経過発表
 (3) 教育支援事務所・町教育委員会指導主事の指導訪問による指導・助言【改善】

活動の成果：
 ●人権課題にせまる人権学習単元の確立と来年度への課題把握
 * 和歌山県の重点的に取り組む人権課題(障害者・高齢者)
 ●地域との新たな協働(地域資源の積極的活用)<写真③>


祭礼の復活	総合的な学習の時間に3年生が神社の学習で関係者の方と関わることで、5年前より途絶えていた粥占いが復活し、実体験することができた。
高齢者との交流	地域健康教室の交流に加えて、地域高齢者サロンにも参加した。更には、つながりの継続のため寒中見舞いの作成を児童が考え、直接手渡すことで喜んでもらった。

●Q-Uの実施(7月と1月に実施)
 両月の結果を比較したところ、学級生活に満足している児童が11ポイント増加した。
 ●学校アンケート(毎学期実施)
 1・3学期の結果を比較したところ、自尊感情に関わる項目で5ポイントの増加がみられた。

アピールポイント(アイデアや工夫)：

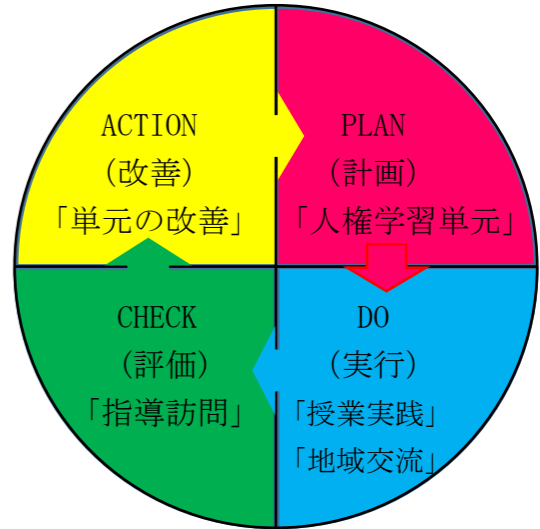
- 保・小・中の連携 ⇒ 児童の実態把握や指導方法の理解が進むことにより更に系統だった指導ができる。
- 全学年が地域と交流 ⇒ 地域への情報発信ができ、教育活動への理解と協力が得られる。
- 継続的な取り組み ⇒ 2年間のPDCAサイクルによる継続した取り組み改善で更なる効果の上積みが見込める。

<資料>




【人権学習単元様式】

<図>




【人権教育研究構想図】

<写真①>




【研究授業】

<写真②>




【研究協議】

<写真②>




【保育所との交流】

<写真③>




【小・中合同ボランティア清掃】

<写真③>



【神社祭礼見学】

<写真③>



【地域高齢者サロン訪問】